

押忍！手芸部 in MOMAS ロボぐるみを作ろう！

2015年8月29日(土) 埼玉県立近代美術館 講堂

埼玉県立近代美術館では、「文化庁 平成27年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の一環として、教育普及プログラム サマー・アドベンチャー2015「押忍！手芸部 in MOMAS ロボぐるみを作ろう！」を行いました。講師に石澤彰一さん(アーティスト・押忍！手芸部 部長)をお招きし、午前と午後の2回、ワークショップを行い、65名が参加してくれました。

ワークショップのスタートは衝撃的です！部長から可愛い犬のぬいぐるみが手渡されると、「着ている毛皮を脱がせてあげましょう！」と声が掛かります。子供達は「キャー！」「かわいそう…」と言いながらも、はさみや工具を使って一生懸命脱がせます。すると、裸になったロボットが現れて大爆笑。すると、「今度はロボットに新しい服を着せてあげよう！」と部長から次の指示が出されます。皆、ロボットに靴下を被せて中に綿を詰め込んだり、布をぐるぐる巻きつけたりするなどして、新しい服を着

せていきます。縫うのが苦手でも、部長が優しく作り方を教えてくださいました。結束バンドやホットボンドを使うと簡単に作れました。最後にボタンで目を付けたりボンボンで飾りを付けると、新しい生き物の完成です！どれもこれも今、流行のゆるキャラに負けていません。尻尾をフリフリさせながら四足歩行で突進したかと思えば、突然立ち止まり首を縦に振りながら「ワンワン」と鳴く姿は、何とも言えずキュートです。見れば見るほど愛着がわいてきます。ワークショップのフィナーレは、ロボぐるみの大運動会です。愛するロボぐるみ達が一斉に並んで走り出します。「速さじゃなくて可愛さを！笑いを取れたらそれが一番!!!」と、部長が暖かな声を掛けると、子供も大人も笑みがこぼれました。やっぱり、自分が作ったロボぐるみが一番です！参加者は皆、大満足。石澤部長、楽しいワークショップをありがとうございました。

矢花俊樹(埼玉県立近代美術館)



きたうらワンがまちをジャック! —7つの間違いを探せ!—

2015年9月26日(土) 北浦和西口銀座商店街

ロボぐるみはその後、商店街イベント「ちびっこ広場」でオリンピック(?)を開催するために街へとびだしていきました。競技は徒競走と相撲の2種目です。路上に設置された特設コースに並んだ12体のロボぐるみは、石澤部長の号令で一斉に駆け出しました(?)が、まっすぐ進むロボは少なくレースは大混戦、先の読めないレース展開に観客はドキドキです。引き続き行われた「ロボ相撲・北浦和場所」では、美術館の

矢花さんが行司に扮してトーナメント戦です。どちらも大いに盛り上がり、徒競走の上位3名と相撲の優勝・準優勝には手製のメダルが授与されました。

またこの日は、200枚の「きたうらワンFamily」のポスターが商店街をジャッ



クしていました。ポスターには7枚だけ間違いが紛れ込んでいて、ワークシートを使って間違いを探し、全部見つけられた人にはプレゼントを贈呈という趣向です。7つの間違いはとても難しく、ヒントなしにはなかなか見つけることができません。そこでご協力頂いているお店の店先に間違い入りのポスターを貼らせていただき、ヒントを出してもらうようお願いし



ていました。実際ふたを開けてみると子どもたちの集中力は素晴らしく、上手に街の人たちと協力しながら、ほとんどが正解にたどり着きました。最終的には215名の方々に、きたうらワンの缶バッジを贈呈することができました。

石上城行(SMF運営委員)



ハロウィンフェスタ

2015年10月25日(日) 旅する服屋さんメイドイン・ユキハシモヒコさんによるワークショップ ハロー・ハロウィン コスチューム制作ワークショップ「衣と体のせめぎあい」お披露目パフォーマンス

さらに10月には、ハロウィンフェスタです。商店街のハロウィンイベントを1週間後に控えた日、商店街の空き店舗に、全国を旅する服屋さんのユキハシモヒコさんがやって来ました。看板には、「ひみつきち」。「ひみつじゃないじゃん!」「ここ、お化け屋敷かな。」「中に入ったことある?」「おれ、手伝っているよ!」「奥にも何かあるらしいよ」「提灯お化けがいたよ。」「商店街のこいろいろ聞かれた。」「登下校中の子どもたちから噂が飛び交う中、確かなことはただ1つ。「ハロウィンで何かするらしいよ!」。

いよいよ当日。仮装した子どもたちが賑やかに街を彩る中、カラフルな衣装で身を包んだパフォーマーが現れました。「衣と体のせめぎあい(P.3参照)」で制作された衣装のお披露目パフォーマンスです。人々の注目を集めつつ、商店街を端から端までパレード。到着した広場にて、パフォーマンス開始です。心地いい曲と、楽しい動きにつられてか、仮装をした子どもたちも思わず動き始めます。「最後の曲では、みんな

でダンスタイム!」「近くの人と、まわって、まわって!」衣装で、音楽で、動きで、ハロウィンを盛り上げます。

そういえば、ひみつきちでは? 薄暗い中、ひっそりと秘密の公演が始まります。内容は、なぜか歯医者が多い商店街の秘密です。昔々、商店街の人々は虫歯で苦しんでいました。その原因は、森の奥に棲むお化け。参加者たちは協力して、虫歯だらけのお化けの歯を、綺麗にしてあげます。「ありがとう!」お化けはお礼に、商店街に素敵なモニュメントをプレゼントしていただきました…。子どもたちの悲鳴や歓声、突っ込みや笑い声が響く中、2回の公演が終了しました。様々な表現者のパフォーマンスが、人々の商店街での思い出を鮮やかに彩った1日となりました。(来場者:ダンス60名/ひみつきち公演50名)

菖蒲澤 侑(埼玉県立近代美術館)

